

### 第19回常任理事会

舑 日 場所 出席者 平成29年12月12日(火)18:00  $\sim$  19:22 北海道医師会館 9 階·理事会室

長瀬会長、深澤・藤原両副会長、北野・ 三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・ 岡部・伊藤・生駒・笹本・青木各常任理 事、津田・藤瀬・篠島各監事

(事務局:安達局長ほか13名)

#### 協議事項

#### 第1号 平成29年度補正予算(案)に関する件 (三戸常任理事)

退職給付金、会館の修繕ならびに積立加算等につ いての補正予算案を了承決定。

#### 第2号 平成29年度会費減免の追加申請に関する件 (三戸常任理事)

道医会費減免申請者は疾病による免除者1名、研 修医免除者7名、高齢による減免者3名の計11名で 免除額152,000円を承認し、次回理事会、来年3月 18日(日)開催予定の第151回臨時代議員会に諮るこ とと決定。また、日医会費減免申請者として、研修 医免除者7名の免除額26,000円を日医へ申請するこ

#### 第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する 件(生駒常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座12件、道医認定生 涯教育講座16件の計28件を承認。

#### 第 4 号 社会保険診療報酬支払基金北海道支部審査 委員会委員の補充推薦に関する件(橋本常任理事)

診療担当者代表委員1名の辞任に伴い、推薦母体 である札幌市医師会に対し後任委員の推薦依頼を行 うことと決定。

#### 第5号 平成30年新年交礼会 [1月6日(土)] の開 催に関する件 (三戸常任理事)

来年1月6日(土)午後6時30分から札幌グランド ホテルで開催することと決定。

#### 第6号 第6回理事会 [12月16日(土)] の議案に関 する件 (三戸常任理事)

12月16日(土)午後4時から札幌パークホテルで開

催する理事会の提出議案を決定。

#### 第7号 その他

- (1) 1月行事予定表に関する件(事務局)
- (2) 平成30年度予算関係三役・担当部長会議の日 程に関する件(事務局)

#### 報告事項

#### 1. 患者接遇に関する研修会 [平成29年度] につい て(岡部常任理事)

今年度は「ホスピタリティと傾聴トレーニング」 をテーマに、新たに北海道医療勤務環境改善支援セ ンター・小山田事務局長を講師に迎え、道内4ヵ所 で地元医師会の協力のもと開催した。実践形式のワ ークを交えた研修内容で、各会場とも参加者は熱心 に受講していた。受講者は、稚内市38名、苫小牧市 70名、余市町40名、美幌町124名の計272名であった。

#### 2. 介護保険制度・障害者総合支援法にかかわる主 治医研修会[平成29年度]について(水谷常任理事)

北海道からの委託事業として実施している本研修 会を道内6地域で開催した。小職をはじめ当会担当 役員が介護保険制度における主治医意見書の記載例 を解説し、北海道の担当者が同制度の概要と障害者 総合支援法について説明を行った。出席した医師に は北海道保健福祉部長名で受講修了証が交付され る。参加者は550名であった。

#### 3. 第12回医療の質・安全学会学術集会 [11月25日 (土)~26日(日)]について(青木常任理事)

「医療の質と安全を支えるコミュニケーション」 をメインテーマに、2つの特別講演、2つの教育講 演、9つのシンポジウム、16のパネルディスカッシ ョンならびに12の教育セミナーが行われ、一般演題 (口述175題、ポスター220題)が発表された。参加 者は約2,700名であった。

#### 4. 第17回医療フォーラム [11月29日(水)・東京] について (笹本常任理事)

「どうする、日本の医療『診療報酬・介護報酬同 時改定と薬価制度抜本改革』」をテーマに、元財務 省事務次官・田中氏より「わが国の税財政と社会保 障」、元内閣官房長官・仙谷氏より「日本の全体像 を描け」、日医・横倉会長より「日本医師会の医療 政策」、日医・松本常任理事より「次期診療報酬改 定について」、日本薬剤師会・山本会長より「『診療 報酬・介護報酬同時改定と薬価制度抜本改革』―薬 剤師の視点から」、健康保険組合連合会・白川副会 長(専務理事)より「診療報酬・介護報酬同時改定と 薬価制度抜本改革」をテーマに、それぞれ講演が行 われた。参加者は約260名であった。

### 5. 審査委員懇談会 [12月1日(金)] について

(橋本常任理事)

審査業務に従事されている社保・国保・労災各審 査委員の労をねぎらうため開催した。出席者は62名 であった。

# 6. 日医女性医師支援センター事業北海道・東北ブロック会議 [12月3日(日)・盛岡市] について (藤井常任理事)

岩手県医師会の担当で開催された。日医女性医師 支援センター事業の概要と、8年ぶりに実施した「女 性医師の勤務環境の現況に関する調査報告」につい て説明があった。各道県医師会より女性医師支援に 関する取り組み等について報告の後、意見交換を行 った。来年度は、宮城県医師会の担当で開催予定。

#### 7. 救急医療対策部会第1回小委員会 [12月3日 (日)] について(目黒常任理事)

部会長に住田委員(旭川赤十字病院)、副部会長に 荒川委員(北見医師会)、奈良委員(手稲渓仁会病院 救命救急センター)が当会会長より指名されたこと を報告し、当会主催で実施したJMAT研修会や小児 救急医療地域研修会の開催結果と合わせて、今年度 実施予定の道内急病センター連絡会や救急医療研修 会等の事業について小職から説明した。その後、伊 藤委員(千歳医師会)から今年9月に開業した千歳市 休日夜間急病センターの現況、奈良委員から今年7 月30日に本格運航したメディカルウイングについて 報告があり、救急医療対策部会全体会議の内容について協議した。

#### 8. 災害時医療救護活動マニュアル作成委員会 [12 月3日(日)] について(目黒常任理事)

災害発生時に迅速かつ組織的な初動体制等を構築することを目的に当会救急医療対策部会員、北海道関係部局、有識者で構成する本委員会を設置し、第1回目の委員会を開催した。今後は、ワーキンググループを設置し、具体的な検討を行い、平成31年3月のマニュアル完成を目途として作業を進めていく予定。

#### 9. 近畿大震災を想定した衛星利用実証実験(防災 訓練) [12月6日(水)・TV会議] について

(目黒常任理事)

近畿大震災を想定した衛星利用実証実験として、 日医と大阪府・京都府・滋賀県・兵庫県・奈良県・ 和歌山県の各医師会を超高速インターネット衛星きずなやワイドスターⅡなどにより接続し、防災訓練が実施された。シナリオに沿って各県が災害対策本部の設置状況や発災直後から3か月後までの被災状況等について日医に報告。また、今年度から日医が運用を開始した災害時情報共有システムを使用し、全都道府県医師会で訓練内容について情報共有を行った。参加者はテレビ会議利用者を含め、都道府県医師会から約93名、総務省・厚労省・職能団体等から約54名であった。

# 10. 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 [12月7日(木)] について(青木常任理事)

日医医師賠償責任保険の運営に関する経過報告の 後、愛知県・東京都両医師会から「医療事故紛争防 止のための患者さん対応」、日医参与・手塚弁護士 から「医療紛争に関する文書と裁判所への提出義務」 についてそれぞれ講演が行われた。また、最近の付 託事例から、高齢者医療と医療紛争に関する報告が あった。

#### 11. 外部各委員会報告

# (1) 第2回北海道地域医療介護総合確保基金(介護分)検討協議会 [11月17日(金)] について

(藤原副会長)

来年度の基金事業のうち新規・拡充事業についての内容や、市町村等からの事業(アイデア) 提案に対する対応についての説明があった。また、介護職員の確保等に向けた取り組みの基本的な考え方についての説明があった。

(2) 第2回北海道高齢者保健福祉計画・介護保険 事業支援計画検討協議会[11月17日(金)] につ いて(藤原副会長)

計画の素案(案)について説明があり、了承された。その他、医療計画との整合性や介護離職ゼロについての説明があった。

#### 12. その他

(1) 日本医師会会員数(12月1日現在)について (三戸常任理事)

平成29年12月1日現在の道医会員数は、8,383名で、内訳はA会員2,457名、B1会員608名、B2会員4,680名、C1会員105名、C2会員129名、C3会員404名となっている。なお、日医会員数は、5,903名となっている。

### 第6回理事会

日 時 平成29年12月16日(土) 16:00 ~ 17:55 場 所 札幌パークホテル 地下2階「パークプ ラザ」

出席者 長瀬会長、深澤・小熊両副会長、北野・三戸・目黒・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・後藤・笹本・櫻井・青木各常任理事、松家・野呂・恩村・阿久津・山下・今野・稲葉・久島・千葉各理事、津田・藤瀬・篠島各監事、宮本参与、本間議長、稲川副議長

(日医オブザーバー) 城裁定委員・林・ 鈴木・太田・上埜各委員

(事務局:安達事務局長ほか16名)

- 1. 開 会
- 2. 会長挨拶
- 3. 報告事項

#### (1) 日医理事会報告(長瀬会長)

世界医師会欧州地域終末期医療シンポジウム、医道審議会医師分科会医師臨床研修部会、薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会の件等の報告や、平成29年度第3回都道府県医師会長協

議会、平成29年度医療事故調査制度支援団体統括者セミナー、平成29年度学校保健講習会の開催の件等を協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

#### (2) 日医裁定委員会報告(城裁定委員)

個別の案件についての報告は差し控える。なお、郡市医・都道府県医・日医の裁定委員会の関係をフローチャートで示そうとしたが、新公益法人に移行する際に、裁定委員会の設置が各医師会の判断に委ねられたため、裁定委員会がない医師会があるなど、裁定の仕組みがバラバラであるため、今後、統一された仕組みを検討すべきであると感じた。

#### (3) 日医各委員会報告

1) 医師会将来ビジョン委員会[10月7日(土)] について(太田・上埜各委員)

会長諮問「医療の今日的課題に対して医師会員は何をすべきか」について、医師会の大義は「国民の生命と健康を守る」ことにある、医療は国民の生命と健康を守るための「社会的共通資本」であるの2つを基軸として、総論の素案が取りまとめられた。このあと、各論につき、ワークショップやディスカッション等を通してまとめる予定である。

 社会保険診療報酬検討委員会 [10月11日 (水)・12月6日(水)]について(橋本常任理事)

中央情勢報告の後、入院外における基本診療料のあり方について審議され、小職からは未来投資戦略2017で議論されている遠隔診療についての考え方は、拙速な点数掲載ではなく、対面診療を基本とした遠隔(オンライン)診療の位置づけであることを議論してきた。

3) 労災・自賠責委員会 [10月19日(木)・12月 14(木)] について(深澤副会長)

次期の労災診療費の最重点項目を整理し、 特にリハビリテーションの種別の点数格差や 算定日数の制限撤廃、術中透視装置使用加算 の適応拡大を審議した。自賠責保険について は新基準に基づいた制度としての運用、120 万円の限度額の見直しと審査業務の第三者機 関の立ち上げについて意見交換をした。

4) 広報委員会 [10月19日(木)・12月14日(木)] について(山科常任理事)

日医ホームページリニューアルや、第6回 日本医師会赤ひげ大賞、第1回生命を見つめるフォト&エッセーの結果などが報告された。また、コスト削減のため、日医雑誌、日医ニュースの提供方法アンケート調査の実施について協議された。 5) 生命を見つめるフォト&エッセー 第2次 審査会 [11月3日(金・祝)] について

(山科常任理事)

エッセー部門では、応募総数合計1,115編の 応募の中から第1次審査で139編に絞り込まれ、 第2次審査会で約40編にまで絞り込まれた。

6) 医療関係者検討委員会 [11月9日(木)] に ついて(北野常任理事)

会長諮問に関するフリートーキングを行い、次回の委員会では最終答申をまとめる予定である。内閣府の地方分権改革による提案募集において、准看護師試験の事務を委託できるよう見直しを求める提案がなされ、厚生労働省ではこれを認める方向である。現状では想定されている委託団体は特にないが、早ければ、来年の国会に法案提出される予定であるとの報告があった。

7) 救急災害医療対策委員会 [11月15日(水)] について(目黒常任理事)

日医・石川常任理事から12月6日(水)に実施する近畿大震災想定訓練や来年度厚生労働省予算概算要求の概要等について説明があり、へき地保健医療対策の推進で今年7月30日(日)から本格運航しているメディカルウイング(固定翼機患者搬送事業)に対して補助を拡充する見込みであること等が報告された。その後、会長諮問について各ワーキンググループが示した論点とりまとめ(案)について協議を行った。

8) 病院委員会 [11月16日(木)] について (小熊副会長)

会長諮問に対する平成28・29年度の審議報告 (最終案)の検討を行い、文言の整理等を行った。

9) 地域医療対策委員会 [11月24日(金)] について(笹本常任理事)

第8・9回地域医療構想に関するワーキンググループ、地域医療構想・病床機能報告における回復期機能、地域医療構想調整会議の進め方に関する留意事項、第54・55回社会保障審議会、第4回全国在宅医療会議ワーキンググループ、医療従事者の需給に関する検討会第15回医師需給分科会について、日医の各担当役員よりそれぞれ報告があった後、12月22日(金)に開催される都道府県医師会地域医療構想担当理事連絡協議会について、日医・釜萢常任理事から説明があった。その後、岐阜県地域医療連携推進研究会資料について二宮委員より、地域医療対策委員会報告書(素案)について田畑委員長より説明があった。

10) 有床診療所委員会 [11月29日(水)] (「有 床診療所の日」記念講演会を含む)について (林委員) 11月19日(日)日医と全国有床診療所連絡協議会の共催で「有床診療所の日」記念講演会が開催され、基調講演のほか「地域包括ケアシステムにおける有床診療所の役割」をメインテーマに、厚生労働省保険局医療課・迫井課長から「地域包括ケアシステムにおける有床診療所への期待」、冨岡衆議院議員から「国が求める医療の将来像」を含む6名のシンポジストにより発表があり、ディスカッションが行われた。

また、委員会では、今後の有床診療所は、 入院医療と介護サービスを組み合わせて運営 する地域包括ケアモデルへの転換を推進する 必要があることから、入院基本料について介 護サービス提供を行っている場合の評価の見 直しや在宅復帰機能強化加算の要件の見直し などの検討案について説明があった。その後、 平成29年有床診療所の現状調査(日医総研ワ ーキングペーパー)の結果報告があった。

#### 11)健康食品安全対策委員会 [12月13日(水)] について(山下理事)

第4回委員会では、昭和大学医学部皮膚科・ 末木教授より「健康食品・日用品・薬物による皮膚障害」と題し、接触皮膚炎例、色素沈着、中毒疹例に係る対応について発表があったほか、聖路加国際大学看護情報学・中山教授より「ヘルスリテラシーと意思決定支援の必要性」をテーマに講演があった。第5回委員会では、健康食品安全情報システムに情報提供された案件について報告があった後、会長諮問に対する答申に盛り込む項目、食品安全を取り巻く課題と医師会のあり方、今後取り組むべき課題などについてフリートーキングを行った。

#### (4) その他

## 1)日本の医療を守る道民協議会第14回総会 [12月11日(月)]について(三戸常任理事)

10月3日(火)、日本医師会館において「第13回国民医療推進協議会総会」が開催され、全国各地で「国民医療を守るための国民運動」を展開することとなり、北海道では12月11日(月)、北海道医師会館において「第14回総会」を開催し、28団体より61名が参加した。笹本常任理事より「医療・介護の適切な財源確保に向けて」、岡部常任理事より「医療等に係る消費税問題」について、それぞれ、医療界における喫緊の課題について意見発表したのち、「日本の医療を守る道民協議会第14回総会」の名で、意見発表の内容を含んだ決議が採択され、衆参国会議員、道議会議員、関係団体等、約700ヵ所に対し決議を送付する。なお、この決議は、12月14日(木)に閉会した

第4回定例道議会において「意見書」として 採択された。

#### 4. 承認事項

#### (1) 社会保険診療報酬支払基金北海道支部審査委 員会委員の推薦について(橋本常任理事)

欠員となっていた診療担当代表委員について、札幌市医師会より推薦のあった1名を推薦したこと、また、診療担当代表委員1名から11月30日付けで辞任届が出されたことに伴い、推薦母体である札幌市医師会へ補充推薦依頼を行うことについて承認決定。

# (2) 医療業務妨害行為対応費用保険について (岡部常任理事)

患者からのクレームに対応するための弁護士 費用を補償する保険を導入し、契約については 各会員の任意加入とすることで来春からの募集 を承認決定。

## (3) グループ保険オプション契約満了後の新たな保険制度について(岡部常任理事)

死亡・高度保障障害時の保険金最高額の引き上げ、傷害保険、三大疾病保障、入院保障の各オプションの契約満了年齢の80歳6ヵ月までの延長など、新たな保険制度を導入することを承認決定。

#### 5. 協議事項

#### 第1号 平成29年度補正予算(案)に関する件 (三戸常任理事)

退職給付金、会館の修繕ならびに積立加算等についての補正予算案を承認し、来年3月18日(日)開催予定の第151回臨時代議員会において報告することと決定。

#### 第2号 平成29年度会費減免の追加申請に関する件 (三戸常任理事)

道医会費減免申請者は疾病による免除者1名、研修医免除者7名、高齢による減免者3名の計11名で免除額152,000円を承認し、来年3月18日(日)開催予定の第151回臨時代議員会に諮ることと決定。また、日医会費減免申請者として、研修医免除者7名免除額26,000円を日医へ申請することと決定。

### 第3号 平成30年新年交礼会 [1月6日(土)] の開催に関する件(三戸常任理事)

来年1月6日(土)午後6時30分から札幌グランドホテルで開催することと決定。

#### 第4号 北海道医師会職員育児・介護休業等規程の 一部改正に関する件(三戸常任理事)

改正育児・介護休業法が本年3月に成立・公布、 10月に施行されたことに伴い、当会職員の育児・介 護休業等規程の一部を改正することと決定。

#### 第5号 北海道医師会職員給与規程等の一部改正に 関する件(三戸常任理事)

国の人事院勧告に基づき、北海道人事委員会が勧告した道職員の平成29年給与表ならびに期末・勤勉

手当の改定に準じて、当会職員についても同様に今 年4月1日から適用することと決定。

#### 6. 道総医協関連事項(深澤副会長)

第5回理事会(10月7日)報告以降に開催された会議について報告した。

7. 閉 会

### 第20回常任理事会

日 時 平成29年12月26日(火)18:00 ~ 18:56 場 所 北海道医師会館 9 階・理事会室

出席者 長瀬会長、深澤・藤原両副会長、北野・ 三戸・目黒・橋本・山科・伊藤・生駒・ 後藤・笹本各常任理事、津田・藤瀬・篠 島各監事

(事務局:安達局長ほか12名)

#### 協議事項

第1号 北海道立北見病院指定管理者候補者選定委員会委員の推薦依頼に関する件(三戸常任理事) 小熊副会長を推薦することと決定。

第2号 母体保護法指定医師の指定に関する件 (三戸常任理事)

12月20日(水)の審査委員会で指定可とされた新規申請者2名を指定医師とすることと決定。

第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する 件(生駒常任理事)

認定要件を満たした新規申請者12名と更新申請者 28名を承認し、日医へ申請することと決定。

第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請 に関する件(後藤常任理事)

認定要件を満たした新規申請者8名と更新申請者2名を承認し、日医へ申請することと決定。

第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する 件(生駒常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座21件、道医認定生涯教育講座37件の計58件を承認。

#### 第6号 その他

(1) 1月行事予定表に関する件(事務局) 報告事項

1. 保険医療医師研修会 [平成29年度] について (橋本常任理事)

網走市、留萌市、室蘭市、江別市の4地区8医師会を対象に開催。各会場とも、保険診療上のルールと指導・監査と保険診療上の留意事項について説明した後、意見交換を行った。留萌・室蘭・江別会場では、北海道厚生局・佐野指導医療官を講師として、保険診療上のルールと指導・監査について説明が行われた。また、本年度から今年3月に発行した、適正な保険診療のてびきをテキストして使用したことから、網走・江別会場に監修いただいた北海道国保連合会診療報酬審査委員会・長谷川前会長を講師と

して招き、保険診療上の留意事項について説明いただいた。会場からは、カルテ記載の重要性を再認識した、具体的な審査上の留意点を直接指導いただき大変勉強になったなどの声があった。出席者は延べ163名であった。

#### 2. メンタルヘルスセミナー [11月7日(火)・名寄 市] について(後藤常任理事)

本セミナーは、北海道地域自殺対策強化事業の一環として、北海道から補助を受け実施している。札幌市精神保健福祉センター・鎌田所長から「現代人のメンタルヘルスーうつの人への接し方・うつにならない暮らし方-」をテーマに講演があった。出席者は地域住民等84名であった。

#### 3. 第48回全国学校保健・学校医大会 [11月18日 (土)・津市] について(後藤常任理事)

日医主催、三重県医師会の担当で「輝ける未来を築く子どもたちのために~今、学校医ができること~」をメインテーマに開催された。午前に5つの分科会が行われ、午後には開会式と日医会長表彰式では学校医・養護教諭・学校関係栄養士各7名が受賞された。その後「学校における子どもたちの健康教育について」をテーマとする基調講演、シンポジウム等があった。参加人数は590名で北海道からは21名が参加した。次回は来年10月27日(土)に鹿児島市で開催予定。

#### 4. 自由民主党北海道支部連合会「団体政策懇談会」 [11月28日(火)・道議会自民党会議室] について (笹本常任理事)

長瀬会長ほか5名の役員が出席し、国民皆保険の 堅持、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築の推進、救急医療体制の充実・強化、診療報酬改定、消費税と事業税などの各医療政策について、自由民主党北海道支部連合会に対して要望し、意見交換を行った。

#### 5. 公明党北海道本部 政策懇談会 [12月16日(土)・ さっぽろ芸文館] について(笹本常任理事)

長瀬会長他5名の役員が出席し、国民皆保険の堅持、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築の推進、救急医療体制の充実・強化、診療報酬改定、消費税と事業税などの各医療政策について、公明党北海道本部に対して要望し、意見交換を行った。

#### 6. 第2回北海道糖尿病対策推進会議 [12月18日 (月)] について(後藤常任理事)

第1回からの積み残しであった北海道版の糖尿病性腎症重症化予防プログラムと、来年度の施行を予定している糖尿病性腎症重症化予防事業に係る助言実施要領について検討し、了承した。今後は北海道医報等でプログラムの周知を行う。

# 7. 都道府県医師会地域医療構想担当理事連絡協議会 [12月22日(金)] について(笹本常任理事)

日医・中川副会長から地域医療構想について、第 7次医療計画のスケジュールやコンセプト、基準病 床と病床の必要量との関係性、新公立病院改革ガイドライン、公的医療機関等2025プランなどについて説明があった後、厚生労働省医政局地域医療計画課・佐々木課長より地域医療構想の進め方について種々の解説が行われた。その後、質疑応答が行われた。出席者はテレビ会議を含め、約500名であった。

#### 8. 日医理事会報告(長瀬会長)

One Health International Conference 2017、第10回地域医療構想に関するワーキンググループ、中医協、第23回厚生科学審議会感染症部会の件等の報告があった。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合会において、HPVワクチンに関する第5報について、医師資格証の提示による医師の資格確認の通知についての意見交換を行った。

#### 9. 中央情勢報告(笹本常任理事)

平成30年度厚生労働省予算案の主要事項について 31兆1,262億円となった来年度厚生労働省予算案 のポイントおよび主要施策について解説した。

#### 道総医協関連事項(深澤副会長)

### 1. 第4回地域保健専門委員会 [12月15日(金)] について (藤原副会長)

未整備圏域のがん診療体制整備の充実を図るため、がん診療連携拠点病院等推薦要領の改正素案が示された。推薦にあたっては、二次医療圏の数21が上限となっているため、その数を超える申請があった場合の対応が必要となることから、選定に必要な評価項目・基準等の検討を行った。今後検討を進め、来年1月中には内容を確定する予定。



### 第52回北海道ドクターズゴルフ大会 開催のお知らせ(予告)

標記大会を、室蘭市医師会の担当で下記のとおり開催することになりましたので、多くの会員にご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

#### 【前 夜 祭】

日 時:平成30年6月30日(土) 午後6時30分~8時

会 場:ビアキャビン

室蘭市中島本町1丁目5-30 TEL (0143)43-1515

【大 会】

日 時: 平成30年7月1日(日) 午前7時スタート(予定)

会 場:室蘭ゴルフ倶楽部 白鳥コース

室蘭市崎守町293-1

TEL (0143) 59-4641

競技方法:18ホールズストロークプレイ

(アンダーハンディ)

A・B・Cの各クラスを予定してお

ります。

レギュラーティ

参加資格:北海道医師会員と同伴する配偶者 (公式ハンディがなくても参加可能)

参加申込:北海道医報3月1日号または4月1

日号附録の「参加申込書」にてお申

込下さい。

宿 泊:宿泊の申込希望がある場合も「参加

申込書」にてお申込下さい。

問合せ先:〒050-0083

室蘭市東町4丁目20番6号

室蘭市医師会内

第52回北海道ドクターズゴルフ

大会事務局 (担当:西下)

TEL (0143) 45-4393

FAX (0143) 45-2292